

【加盟団体紹介】

神奈川県ゴルフ協会

会長 並木裕之

1. 沿革

当協会は1991年12月、それまでの設立準備会に参加していた県内15市町と県高等学校ゴルフ連盟（高ゴ連）を加えた16団体で設立され（初代会長は桶本正夫神奈川新聞社社長）、現在28年目を迎えています。

1998年の神奈川国体（かながわ・ゆめ国体）でのゴルフ種目化を目指し、それまで神奈川県アマチュアゴルフ選手権大会（神奈川アマ）、かながわオープンゴルフなどの実績を持つ神奈川新聞社が中心となり特に80年代後半から奔走、その後、JGA（日本ゴルフ協会）の日本体育協会（現・日本スポーツ協会）復活再加盟、行政サイドでは40都府県での競技団体組織化も実り、98年国体で「公開競技」として実施されました。

2. 組織

現在29市町協会と高ゴ連を合わせた30団体により構成されています。総務、ハンディキャップ、競技、競技力向上、ジュニア、規則の6つの専門委員会を設置し、特に競技委は神奈川アマをメインとした競技運営、競技力向上委は国体選手選考・強化、研修競技会、TEAM KANAGAWAの年間計画立案と推進、ジュニア委は飛躍が期待されるジュニアの強化と底辺拡大、人間力向上を目指した育成事業に、それぞれ通年で取り組んでいます。

3. 事業

1978年、男子の部でスタートした神奈川アマは今年42年目（女子は81年が第1回）を迎え、その後競技者ニーズに応える形で部門も拡大、現在は男子の部・女子の部に加え、ミッド、シニア、ミッドシニア、グランドシニア、ジュニア（中・高校生、小学生）と多岐にわたり、参加者数は延べ3,000人を超え、全国的にも群を抜く数となっています。

各市町協会から推薦された選手で構成する研修競技会事業では、男女とも年数回の強化会を行って技量を競うとともに、市町協会のけん引役となってもらう人材の強化に努め、さらに国体や日本アマなど豊かな経験を持つ数名により「TEAM KANAGAWA」を構成しています。ジュニアでも「TEAM KANAGAWA ジュニア」を構成し、ジャパンプラスの選手を多く輩出、これまで吉田弓美子、木戸愛、下川めぐみ、斉藤愛璃、原英莉花、山口すず夏、堀川未来夢らを始め多くの選手が、本県ジュニアから飛躍しています。ジュニア事業では各市町協会のスクールを支援するとともに、当協会でも戸塚カントリー倶楽部などの協力を得て「合同ジュニアスクール」を開催、県内からの委員の応援も得て、技術指導のみではなく、礼儀やマナーなど「人間力の成長」を重視した活動を行っています。

4. 課題

競技人口の減少、少子化が当協会の活動にも大きく影を落としており、今後は、競技性のみではなく、「生涯スポーツとしてのゴルフ」という観点から改めて協会事業を見直す、時代に即した活動の必要性を痛感しております。

（理事長 小原健司）

＜昨年行われた県合同ジュニアスクール
での集合写真＞



大磯町体育協会

会長 尾崎一夫

大磯町は相模湾や高麗山、鷹取山を望み、初代内閣総理大臣の伊藤博文をはじめ 歴代総理大臣 8 人が居を構え、国の重要無形民俗文化財に指定されている左義長や、県無形民俗文化財指定の国府祭等の民俗行事が有り、自然的、文化的、歴史的な町です。

昭和 29 年 12 月 1 日大磯町と国府町が合併し、昭和 30 年 4 月 1 日に現在の 大磯町体育協会が「町内の各種団体相互の緊密な連携を図り、社会体育を振興して町民の体位向上を図る」ことを目的として発足されました。

当初の専門部は 陸上部、野球部、柔道部、剣道部の 4 部でしたが、現在では 18 部が加盟し、年間 28 競技の町民大会を主催し精力的に活動を行っています。

平成 15 年に大磯運動公園内に念願であった野球場が完成し大磯町民町長杯争奪野球大会も今年で 73 回の開催になり、当協会のもっとも古い歴史を持つ大会になりました。

大磯町体育協会では、主催する各種大会とは別に、その他体育関連行事に対しての協力も行っていきます。

大磯町からの委託事業として、「市町村対抗かながわ駅伝競走大会」や「各種目の初心者教室」の事業を実施しています。

町主催の協力事業では「全国一斉チャレンジデー」「大磯チャレンジフェスタ」「大磯一周駅伝大会」に多数の役員で運営に協力しています。

他に、「湘南国際マラソン」に於いても、大磯町体育協会としてボランティアに参加しています。



大磯町民町長杯争奪野球大会



小諸市スポーツ交流(ミニバスケット)

また、大磯町は昭和 48 年 4 月に、長野県小諸市と文学姉妹都市を結び、昭和 52 年から大磯町・小諸市体育協会の交流が始まり、社会人野球、少年野球、ミニバスケットボール少年団等が両体育協会の代表として毎年スポーツ交流を実施しており、今年度は小諸市を大磯町に迎え、ママさんバレー(50 歳以上)の交流試合を実施致します。

大磯町体育協会は令和元年の今年、設立 65 周年を迎えるに当たり、高齢者には、正しい知識や指導の下にレクリエーションを行うことで、心身のみならず、脳も活性化し、健康の維持、促進に努め、青少年には、幼少期より、体を動かすことに慣れ親しみ、運動を楽しいと感じてもらえる様な事業を続行していき、少子高齢化や青少年の運動離れ等、時代の変化に対応し、「活気あふれる大磯町に」スポーツを通じて町と協力し実施致します。